

JR東海MARKET 3周年×ドクターイエロー（T4編成）引退特集企画
～ドクターイエローディスプレイモデル製作クラウドファンディング開始～

本年1月に惜しまれつつ引退したJR東海所属の新幹線電気軌道総合試験車923形0番代（通称「ドクターイエロー」・T4編成）。引退特集企画として、ドクターイエロー（T4編成7号車）のディスプレイモデル（1/45スケール（Oゲージ））を製作するクラウドファンディングを開始します。「幸せの黄色い新幹線」をあなたの特別な場所にお迎えしませんか。鉄道ファンの皆様の温かいご支援をお待ちしております。

1. クラウドファンディング実施期間

実施期間：2025年3月3日(月) 10:00～5月29日(木) 23:59

URL：https://market.jr-central.co.jp/shop/crowd_funding/project.aspx?project=T4-923SD

2. プロジェクト概要

新幹線製造分野で国内トップシェアを誇る日本車輛製造(株)（以下「日本車両」）の直営鉄道グッズ専門店として1999年に発足し、2017年に惜しまれつつも閉店した『日車夢工房』。その『日車夢工房』の鉄道模型製作スキームを活用し、JR東海全面協力のもと、実際の車両の製作図面を持つ日本車両と鉄道車両模型の老舗メーカーである(株)カツミ（以下「カツミ」）の技術力を結集してディスプレイモデル（1/45スケール（Oゲージ））を製作します。

目標金額：120,000,000円（一口239,000円から）

- 返礼品：
- ・T4編成7号車ディスプレイモデル一式
 - ・ドクターイエロー（T4編成）の製造所銘板（レプリカ）
- ※上記のほかT4編成再生アルミ製車両形式図プレート
を付けた「特別セット」を100セットご用意



【参考】0系ディスプレイモデル(1/45スケール(Oゲージ))
※カツミが製作し、日本車両が『日車夢工房』で販売(2001年)

3. 各返礼品・オプションの主な特徴（詳細は別紙をご参照ください）

- T4編成7号車ディスプレイモデル
 - ・実際の車両の製作図面を元に多数の鉄道模型製作実績を誇るカツミが製作
 - ・実際の車両を調査し、色合い、表記類、搭載機器のリアリティを追求
 - ・特徴的な装置である前方監視カメラや、機器室、乗務員室、通路なども再現
 - ・リモコン操作により、実際の車両から収録した警笛音などが鳴動し、さらに標識灯（白色灯・赤色灯）、運転室、添乗員室の照明が点灯
- ドクターイエロー（T4編成）の製造所銘板（レプリカ1/1スケール）
 - ・実際の車両に付いていた製造所銘板と同じ工法、材質、大きさなどを正確に再現
- T4編成再生アルミ製車両形式図プレート（「特別セット」に付属）
 - ・再生アルミを原材料としT4編成7号車の車両形式図をレーザー彫刻したプレート



クラウドファンディング
申込ページ



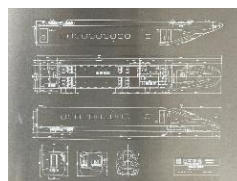
寸法測定の様子



警笛音収録の様子



製造所銘板
(写真は実際の車両)



T4編成再生アルミ製
車両形式図プレート
(特別セットのみ)

1

車両を製造した日本車両が保有する図面をもとに老舗模型メーカーのカツミが製造・監修



2

前方監視カメラや機器室、乗務員室、通路なども再現
※カメラに撮影機能はありません



前方監視カメラ 機器室

3

標識灯(白色灯・赤色灯)の点灯切り替えが可能
さらに白色灯はハイビーム、ロービームの切り替えが可能
(リモコン操作)



白色灯 赤色灯

4

実際のT4編成7号車から収録した警笛音などが鳴動
(リモコン操作)



5

運転席も図面をもとに再現
運転室内の照明も点灯可能
(リモコン操作)



6

添乗員室の座席(50席)や荷棚、照明カバーなども再現
添乗員室内の照明も点灯可能
(リモコン操作)



7

車両が繋がっているときには直接見ることが難しい車両間の断面の配線受・標記類も再現



8

Oゲージよりも小さい模型では再現が難しい機器標記や車内標記も同じ書体で再現



9

展示台
(レール敷設済・展示プレート・
アクリルケース、シリアルナンバー付)
※シリアル番号は、先着順ではなく
ランダムとなります



※写真はイメージです

10

実際の車両に付いていた製造所銘板と同じ工法(アルミ鋳物)で作った製造所銘板のレプリカ品(同一サイズ、同一色)をディスプレイモデルとは別に返礼品として用意



※画像はイメージです。